

# 校内救急体制

平成28年4月11日  
東海南中学校

## <基本心得>

- ◎緊急時は全教職員でその対応にあたる。
- ◎救急車の要請は管理職と養護教諭が相談の上、判断し決定する。
- ◎保護者への連絡は予断や推測を交えず、事実を正確に伝える。
- ◎事故の原因、経過について、災害発生の現場で、本人または周囲にいた者から事故発生の状況を聴取し、把握する。
- ◎原因、措置等に関する問題点を明確にし、再発防止と安全管理・指導につなげる。

## <日常の病気・けがの対応について>

- ◎体調不良やけがで受診した方が良いと判断した場合は、早急に家庭に連絡する。  
(保健室での処置やけがの伝達は学級担任または学年担当に報告します。)
- ◎感染症のような症状があり、感染症かどうか疑われる場合は、帰宅させ受診してもらう。
- ◎頭部外傷・骨折その他の大きな外傷の場合は、すぐに保護者と連絡を取り、家庭指定の医療機関で受診させる。保護者に引き渡すまで付き添い、看護する。(緊急カード持参)
- ◎加害者、被害者のある場合は、双方の学級担任は保護者に連絡をし、問題のある場合は、家庭訪問などを行い、生徒・保護者への対応を十分配慮する。
- ◎傷病のある生徒を帰宅させる場合は、保護者の来校を待ち、保護者同伴で帰宅させる。来校できない場合は、教職員が付き添い帰宅させる。一人で帰宅させない。
- ◎生徒を医療機関に受診させるときには、原則としてタクシーを利用する。職員の自家用車を使用する場合は、管理職の許可を得ること。
- ◎学校管理下での事故は、保険適応の範囲で、日本スポーツ振興センターの災害給付を申請、受給できます。

## 医療機関連絡

保健室：内線17

* 救急車	119	* 救急医療情報センター	426-1199
* 厚生病院	489-2178	* 田尻内科	487-2888
* 和医大病院	447-2300	* 斉藤耳鼻科	485-3387
* 海南医療センター	482-4521	* 林歯科	487-0058
* 日赤医療センター	422-4171	* 海南保健所	482-0600
* 恵友病院	483-1033		
		* オレンジカー	482-1800

## 事故発生 緊急時の体制

**AED** は  
玄関ホール

### 事故発生場所

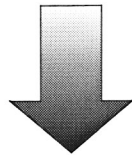
< 発見者は、まず落ち着いて ! >

- 1 大声で近くの者に応援を求める。
- 2 現場を離れずに観察する。  
原則的に傷病者は動かさない。

必要により、応急処置を行う。

〔 心臓マッサージ・気道確保・人工呼吸・  
意識・呼吸・脈・顔色・出血・けが(瞳孔) 〕

応援者が通知



生徒名・状況・場所  
(いつ・どこで・だれが・どうした)

### 職員室

救急車の要請判断・要請と発見者への応援等  
(校長・教頭・養護教諭・教務主任・事務職員)  
< 判断に迷うときは、要請する。 >

救急車

〔 「救急です」 救急車をお願いします。  
東海南中学校(487-0151、野上中590)  
の〇〇です。  
「いつ・どこで・だれが・どうした」を伝える。 〕

応援等

〔 AED の準備  
緊急連絡カードの準備  
保護者への連絡  
救急車の誘導・添乗 〕